

令和6年5月28日

大臣官房参事官(イノベーション)

第3回「宇宙を目指す建設革新会議」を開催します

「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」(スターダストプログラム)の一環の「宇宙無人建設革新技術開発推進事業」(国交省及び文科省連携)の第3回「宇宙を目指す建設革新会議」(略称:宇宙建設革新会議)を開催します。

近い将来の月面での建設活動を目指し、地上の建設技術の基盤技術の確立に向けた研究開発として、今年度の実施事業が決定しましたので、産学官の関係者が一堂に会し、個々の研究開発とともに事業全体の推進を図ります。

- 日時: 令和6年6月3日(月) 17~19時
 - 場所: 機械振興会館 6階 6D-1~3会議室(東京都港区芝公園3-5-8)
 - 参加者: 別紙のとおり
 - 次第: 12プロジェクトの報告及び意見交換、情報共有事項、関連話題提供 等
- ※会議は原則非公開ですが、報道関係者は冒頭挨拶まで会場で傍聴、カメラ撮りが可能です。

参加希望者は5月30日(木) 17時までに、下記フォームよりご登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/aLfUbQexTR>

なお、参加希望者多数の場合、こちらで人数を調整させて頂く場合がございます。



【問い合わせ先】

大臣官房 参事官(イノベーション) グループ 施工企画室

企画専門官 矢野、課長補佐 林、技術企画係長 吉崎 (内線 22403、22432、22433)

代表: 03-5253-8111 直通: 03-5253-8285

E-mail: hgt-unmanned_constr@ki.mlit.go.jp

◆宇宙建設革新会議 委員名簿 (敬称略 20240528 時点)

(学識者)

石上 玄也 慶應義塾大学 理工学部機械工学科 准教授
 諸田 智克 東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻 准教授
 松尾 亜紀子 慶應義塾大学 理工学部 教授

(研究者)

橋本 毅 土木研究所 技術推進本部 上席研究員
 永井 直樹 宇宙航空研究開発機構 国際宇宙探査センター 事業推進室長
 川崎 治 宇宙航空研究開発機構 宇宙探査イノベーションハブ 副ハブ長

(行政)

森下 博之 国土交通省 大臣官房 参事官 (イノベーション)
 鈴木 優香 文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 宇宙利用推進室長
 中谷 絵里 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 参事官補佐

◆令和6年度 宇宙無人建設革新技術開発推進事業 研究開発実施者

研究開発実施者 (○代表者、共同実施者)	技術研究開発名称
○鹿島建設 宇宙航空研究開発機構、芝浦工業大学	建設環境に適応する自律遠隔施工技術の開発— 一次世代施工システムの宇宙適用
○清水建設 ボッシュエンジニアリング	自律施工のための環境認識基盤システムの開発 及び自律施工の実証
○大成建設 パナソニックアドバンステクノロジー	月面適応のための SLAM 自動運転技術の開発
○有人宇宙システム	トータル月面建設システムのモデル構築
○小松製作所	デジタルツイン技術を活用した、月面環境に適 応する建設機械実現のための研究開発
○立命館大学 芝浦工業大学、東京大学大学院、横浜国立大学、港 湾空港技術研究所、アジア航測、基礎地盤コンサルタ ンツ、ソイルアンドロックエンジニアリング	月面の3次元地質地盤図を作成するための測 量・地盤調査法
○熊谷組 住友林業、光洋機械産業、加藤製作所、工学院大学	索道技術を利用した災害対応運搬技術の開発
○技研製作所	回転切削圧入の施工データを利用した、月面建 設の合理的な設計施工プロセスの提案と評価
○大林組 名古屋工業大学、レーザー技術総合研究所	月資源を用いた拠点基地建設材料の製造と施工 方法の技術開発
○清水建設 太陽工業、東京理科大学	月面インフレーターブル居住モジュールの地上実 証モデル構築
○大林組 宇宙航空研究開発機構、室蘭工業大学、サカセ・ア ドテック	月面における展開構造物の要件定義および無人 設営検討の技術開発
○東京大学 九州大学、竹中工務店、宇宙航空研究開発機構	月の極域および縦孔での滞在開始用ベースキャン プの最小形態と展開着床機構の開発